



加藤総夫先生には「最新脳科学によって明らかになってきた痛みを生み出す脳機構」と題して講演をお願いしました。

御専門は、神経生理学・神経薬理学・疼痛生理学・自律神経神経科学。特に**痛みの脳科学**。薬学博士（東京大学）、医学博士（東京慈恵会医科大学）。東京慈恵会医科大学・名誉教授。東京慈恵会医科大学・総合医科学研究センター・神経科学研究部前部長（元教授）。東京慈恵会医科大学・先端医学推進拠点・痛み脳科学センター・前センター長。日本学術会議連携会員。

- 2023年7月30日、東京慈恵会医科大学大学1号館講堂において、第1回痛覚変調性疼痛研究会（主催：痛み脳科学センター）が開催されました。開催代表と司会進行を務められました。
- 侵害受容情報が投射する脳幹の腕傍核から、情動とその記憶、あるいは、有害状況に関連した恒常性維持に関与する扁桃体中心核への投射が、持続する痛みによって顕著なシナプス可塑性を示すことを証明。さらに、その活性化が、長期にわたる広汎性の痛覚過敏を能動的に引き起こす事実を証明。「**Pain changes the Brain, the Brain changes the Pain**」という言葉を提唱。

著作

1. 標準生理学 第10版（担当:分担執筆, 範囲:体性感覚）医学書院 2025年3月
2. 痛み診療All in one（担当:分担執筆, 範囲:痛みと情動）文光堂 2022年11月
3. 痛み診療All in one（担当:分担執筆, 範囲:上位中枢と痛み）文光堂 2022年11月
4. カンデル神経科学 第2版 Kandel, Eric R., et al（担当:分担翻訳）メディカル・サイエンス・インターナショナル 2022年9月



島田療育センター 院長 久保田雅也

小児神経領域の疾患全てを診ています。
今回は「**痛みについてわかっていること、わかっていること**」についてお話しします。

略歴：

2007年 国立成育医療研究センター神経内科医長

2017年 国立成育医療研究センター神経内科診療部長

この間2015-20年 東京大学教授兼任（工学部大学院情報理工学研究科）

2020年3月 国立成育医療研究センター神経内科診療部長 退職

2020年4月 島田療育センター 副院長 就任

東京大学非常勤講師（工学部大学院情報理工学研究科）

2021年3月 島田療育センター 院長

専門医：日本小児科学会、日本小児神経学会、日本てんかん学会、日本臨床神経生理学会（脳波）

著作：「ここまでわかった小児の発達」五十嵐隆、久保田雅也 編集 中山書店 2010

「小児科学レクチャー 3-6 徹底解説!小児のてんかん」久保田雅也 編集 総合医学社 2013

「動画でわかる小児神経の診かた」久保田雅也ほか（分担執筆）藤井 克則 編集 羊土社 2020

「失敗から学ぶ 小児神経診断エラー学」久保田雅也ほか編・著 診断と治療社 2025

趣味：ギター、油絵、盆栽、犬（シェルティ）